

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第34週(令和8年8月17日～令和8年8月23日)

＜発生動向＞

第34週は結核の報告が7件ありました。結核の主な症状は咳や痰、発熱等で風邪の症状に似ていますが、風邪との違いは症状が数週間続き、治ったと思ったらまた繰り返すことです。2週間以上、咳や痰が続く時は医療機関を受診しましょう。症状がなくても職場の健診などで年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

また、感染性胃腸炎の定点当たりの報告数は、8.62と前週より増加しています。調理前や食事の前、トイレに行った後、下痢等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後などは流水、石けんによる手洗いを必ず行いましょう。吐物処理には次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒を行い、感染拡大を防止しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	7	107	19	514	185	9,200
腸管出血性大腸菌感染症	2	28	3	140	178	2,311
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	6	1	25	14	372
侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	1	85	29	1,853
梅毒	3	81	19	464	105	7,209

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	15	0.65	0.70	108	0.89	3,896	1.12
インフルエンザ	9	0.39	0.96	80	0.66	2,417	0.69
急性呼吸器感染症	844	36.70	32.26	4,600	37.70	103,658	29.80
RSウイルス感染症	19	1.46	1.08	111	1.59	1,067	0.51
咽頭結膜熱	6	0.46	0.46	34	0.49	373	0.18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	1.46	0.69	91	1.30	1,727	0.82
感染性胃腸炎	112	8.62	4.54	391	5.59	4,432	2.11
水痘	2	0.15	0.62	19	0.27	386	0.18
手足口病	15	1.15	0.54	71	1.01	5,047	2.40
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	1	0.01	43	0.02
突発性発しん	3	0.23	0.08	34	0.49	393	0.19
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.31	35	0.50	1,456	0.69
流行性耳下腺炎	4	0.31	0.08	7	0.10	64	0.03
急性出血性結膜炎	2	0.33	0.00	2	0.08	7	0.01
流行性角結膜炎	11	1.83	0.33	110	4.23	223	0.35
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	3	0.20	22	0.05
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	1	0.07	215	0.45
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	8	0.02
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	0	0.00	8	0.02

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。